



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 リソルホールディングス株式会社

コード番号 5261 URL <https://www.resol.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今泉 芳親

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 及川 毅雄 TEL 03-3344-8861

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	10,983	△33.0	△1,207	-	△1,071	-	△1,005	-
2021年3月期第3四半期	16,391	0.3	1,886	73.7	2,185	107.1	1,039	113.9

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 △989百万円 (-%) 2021年3月期第3四半期 1,041百万円 (92.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	△181.00	-
2021年3月期第3四半期	187.23	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	40,707	12,132	29.4	2,156.27
2021年3月期	38,426	13,401	34.8	2,405.76

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 11,977百万円 2021年3月期 13,362百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	0.00	-	50.00	50.00
2022年3月期	-	0.00	-	-	-
2022年3月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期の配当予想については、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

2022年3月期につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難なことから、現時点では未定とさせていただきます。今後、新型コロナウイルスの影響を見極めながら、合理的な業績予想の算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	5,564,200株	2021年3月期	5,564,200株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	9,329株	2021年3月期	9,910株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	5,554,680株	2021年3月期3Q	5,554,345株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(表示方法の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ワクチン接種の普及に加え、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の解除により行動制限が緩和され、10月以降は消費の持ち直しも期待されましたが、新型コロナウイルスの新変異株の感染症再拡大や国際情勢の動向等については、今後も注視が必要であり、引き続き不透明な状況が継続するものと思われま

す。このような経営環境のもと、当社グループでは、継続して安全配慮を最優先とするサービス体制の強化に努め、お客様の満足度向上を図りました。また、コロナ禍における新しい価値観に対応した成長事業の拡大と新たな事業基盤構築を積極的に進めました。ゴルフ場でのプライベート空間と開放感の両立が図れる戸建てスタイルのフェアウェイフロントヴィラ事業として、区分所有権型の会員制リゾートクラブ「ゴルフパケーションクラブ 久慈」「ゴルフパケーションクラブ 瀬戸内」の募集を開始しました。別荘の宿泊事業化をサポートし、貸別荘の運営・維持管理を行うリソルステイ事業の拡大を図り、別荘×貸し切り温泉×四川料理店「スイートヴィラ伊豆RONG」を新しく開業しました。再生エネルギー事業として、脱炭素ニーズを見据えた新たな取組みを推進しました。

ホテル運営事業では、コロナ禍におけるホテル強化策として、コロナ対応プラン(テレワーク・デイユース)、中長期滞在プラン(1ヶ月、週単位)の販売を強化し、稼働率が上昇しました。また、「ホテルリソルトリニティ那覇」「ホテルリソルステイ秋葉原」の開業準備を着実に進めました。リゾート部門では、スパ&ゴルフリゾート久慈が宿泊・ゴルフの両部門ともに順調に推移しました。

ゴルフ運営事業では、密を避けた野外スポーツとしての需要が堅調で、接待やコンペ需要も一部戻りつつある中、引き続き安心・安全の環境づくりを徹底しました。また、グループ施設共通で使える「リソルカードG」会員の拡大と会員リピート率アップを狙った企画サービス施策を積極的に図りました。

リソルの森(CCRC)事業では、アウトドアリゾート需要拡大を見据えて拡充した、「グランヴォー スパ ヴィレッジ」の新グランピングエリア「ラク・レマン」が好評となり、アウトドア関連は順調に推移しました。また、「フリーゴルフ付マンズリー滞在プラン」など新しい価値観に対応した商品企画に取り組みました。ゴルフ部門においては、入場者数の拡大と会員権販売が引き続き好調となり、不動産販売部門においては、「ゴルフパケーションクラブ リソルの森」の販売が順調に推移しました。スポーツ・アウトドア部門では、会員制スポーツクラブ「MTC スポーツクラブ」の販売を強化しました。

福利厚生事業では、(株)アドバンテッジリスクマネジメントとの共同メニュー開発やシステム連携を強化しました。また、契約企業の従業員やそのご家族の健康をサポートするメニューとして、「Amazon 育児支援券」「Amazon 介護支援券」「ゴルフレッスン」等、新規メニューの開拓に注力しました。

再生エネルギー事業では、福島県太陽光発電事業の売電が順調に推移しました。また、リソルの森内において1.5メガワット太陽光発電の売電を開始しました。自家消費型(脱FIT)再エネ事業や地産地消型事業等の取組みも推進しました。

投資再生事業では、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を見据えながら販売用不動産やバリューアップ型投資再生売却案件の整理を行いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症の影響が引き続き残る中、ホテル運営事業の売上高は回復の兆しも見せましたが、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準にはまだ及ばない状況であります。その結果、売上高は、10,983百万円(前年同期比33.0%減)、営業損失は1,207百万円(前年同四半期は営業利益1,886百万円)、経常損失は、1,071百万円(前年同四半期は経常利益2,185百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,005百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,039百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、40,707百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,280百万円増加しております。これは主に現金及び預金が1,530百万円減少、販売用不動産及び有形固定資産が3,310百万円増加等によるものです。負債につきましては、28,574百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,549百万円増加しております。これは主に、短期借入金金が5,200百万円増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の拡大が業績に与える影響に未確定要素が多く、現時点で業績予想を合理的に算定することが困難であることから未定としております。今後、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら、合理的な業績予想の算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

また、上記の通り2022年3月期の業績予想を未定とすることから、配当予想につきましても引き続き未定とし、2022年3月期の業績予想の算定が可能となった時点で、配当予想につきましても速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,311,277	2,781,122
営業未収入金(純額)	1,017,755	1,023,309
商品	104,973	109,391
販売用不動産	5,794,996	7,683,854
貯蔵品	73,621	83,036
その他(純額)	853,416	952,181
流動資産合計	12,156,041	12,632,896
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,088,744	6,184,787
土地	12,117,102	13,507,377
その他(純額)	2,879,050	2,814,350
有形固定資産合計	21,084,897	22,506,515
無形固定資産		
のれん	532,181	469,300
その他	361,858	334,108
無形固定資産合計	894,040	803,409
投資その他の資産		
投資その他の資産合計	4,291,485	4,764,381
固定資産合計	26,270,423	28,074,305
資産合計	38,426,464	40,707,201

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	252,154	372,992
短期借入金	1,500,000	6,700,000
1年内返済予定の長期借入金	2,790,264	2,942,764
未払法人税等	126,386	173,082
賞与引当金	95,447	97,249
役員賞与引当金	11,000	—
その他	2,615,501	2,790,750
流動負債合計	7,390,753	13,076,838
固定負債		
長期借入金	12,641,804	10,560,422
退職給付に係る負債	461,364	454,966
従業員特別補償引当金	235,991	149,261
資産除去債務	395,963	397,906
預り保証金	2,011,520	2,152,991
その他	1,887,622	1,782,375
固定負債合計	17,634,265	15,497,923
負債合計	25,025,019	28,574,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948,088	3,948,088
資本剰余金	2,475,845	2,975,583
利益剰余金	6,963,285	5,076,686
自己株式	△23,687	△22,449
株主資本合計	13,363,531	11,977,907
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△1,257	△114
その他の包括利益累計額合計	△1,257	△114
非支配株主持分	39,171	154,646
純資産合計	13,401,445	12,132,439
負債純資産合計	38,426,464	40,707,201

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	16,391,644	10,983,342
売上原価	7,143,989	4,010,717
売上総利益	9,247,654	6,972,624
販売費及び一般管理費	7,361,151	8,179,917
営業利益又は営業損失(△)	1,886,502	△1,207,292
営業外収益		
受取利息	21	15
受取賃貸料	6,771	7,621
受取保険金	—	3,093
還付金収入	4,481	8,565
雇用調整助成金	508,351	110,739
その他	135,002	220,414
営業外収益合計	654,628	350,449
営業外費用		
支払利息	147,174	124,077
支払手数料	159,169	34,695
その他	49,671	55,589
営業外費用合計	356,015	214,362
経常利益又は経常損失(△)	2,185,115	△1,071,205
特別利益		
固定資産売却益	927	398
受取保険金	90,729	—
従業員特別補償引当金戻入額	—	53,730
負ののれん発生益	—	473,896
特別利益合計	91,656	528,024
特別損失		
固定資産除却損	212	365
従業員特別補償引当金繰入額	97,450	—
新型コロナウイルス感染症による損失	517,573	214,269
その他	39,592	—
特別損失合計	654,829	214,634
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,621,942	△757,814
法人税、住民税及び事業税	141,531	187,908
法人税等調整額	440,502	44,471
法人税等合計	582,034	232,379
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,039,908	△990,194
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△19	15,192
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,039,928	△1,005,386

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,039,908	△990,194
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	1,527	1,142
その他の包括利益合計	1,527	1,142
四半期包括利益	1,041,435	△989,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,041,455	△1,004,243
非支配株主に係る四半期包括利益	△19	15,192

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)(以下「収益認識会計基準」という。)および「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、他社商品販売について、従来は顧客から受け取る対価の総額を収益で認識しておりましたが、代理人取引に該当する取引については収益を受け取る対価の総額から仕入先に対する支払額を差引いた純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は29,756千円増加し、売上原価は301,162千円減少し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ330,919千円減少しております。また、利益剰余金の当期期首残高は603,279千円減少しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響)

当第3四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表関係)

第1四半期連結会計期間より、ホテル・ゴルフ運営事業等の管理方法の見直しなどにより実態を適切に表示させるため、「売掛金」及び「営業未収入金」、「買掛金」及び「営業未払金」の表示科目の見直しを実施いたしました。

この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「売掛金」に表示していた1,017,755千円は、「営業未収入金」として組み替え、「買掛金」に表示していた252,154千円は、「営業未払金」として組み替えております。

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「流動資産」の「未収入金(純額)」は、第1四半期連結会計期間より、金額的重要性が乏しくなったため、「流動資産」の「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「未収入金(純額)」に表示していた119,666千円は、「その他」として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注①)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注②)
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客へ の売上高	3,142,165	2,738,519	1,596,781	684,508	1,051,460	7,178,209	16,391,644	—	16,391,644
(2) セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	42,360	32,084	347,162	13,357	62	191,224	626,250	△626,250	—
計	3,184,525	2,770,603	1,943,944	697,865	1,051,522	7,369,433	17,017,894	△626,250	16,391,644
セグメント 利益又は損失 (△)	△1,115,116	84,751	748	△166,884	495,422	3,401,439	2,700,361	△515,245	2,185,115

(注) ① セグメント利益又は損失(△)の調整額△515,245千円には、セグメント間取引消去△237,367千円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△277,878千円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

② セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注①)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注②)
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客への売上高	3,600,391	3,715,398	2,336,637	640,885	664,471	25,558	10,983,342	—	10,983,342
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	60,612	33,785	40,097	16,777	65	5,400	156,739	△156,739	—
計	3,661,003	3,749,183	2,376,735	657,663	664,536	30,958	11,140,081	△156,739	10,983,342
セグメント利益又は損失(△)	△1,294,983	533,496	167,360	35,534	34,522	241	△523,828	△547,377	△1,071,205

(注) ① セグメント利益又は損失(△)の調整額△547,377千円には、セグメント間取引消去△130,961千円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△416,415千円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

② セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 収益認識の時期別に収益の分解情報を示す場合

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
一時点で移転される財	3,599,587	3,659,446	2,326,887	72,467	664,471	17,103	10,339,961	—	10,339,961
一定の期間にわたり移転される財	804	55,952	9,750	568,418	—	8,455	643,381	—	643,381
顧客との契約から生じる収益	3,600,391	3,715,398	2,336,637	640,885	664,471	25,558	10,983,342	—	10,983,342
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,600,391	3,715,398	2,336,637	640,885	664,471	25,558	10,983,342	—	10,983,342